



"Yes, I can!"



* 卒業までのカウントダウン! *



いよいよ卒業式の本番まで、残すところあと19日となりました。明日から3年生は就職・進学休みに入ります。次の出校日は20日(月)と28日(火)になりますが、特に28日は卒業式の最終日-ルの日です。来週から、しばらく3年生のいない校舎に幾分寂しさを感じることでしょう。

今後、在校生は1・2年合同集会で祝典の部で歌う「祝いの歌」の練習等が行われる予定ですが、卒業式本番に向け在校生としてできることは、卒業する先輩たちを気持ちよく送るためにもしっかりと練習し、本番では最高の状態で臨めるよう、皆さん一人一人が役割を自覚し「和衷協同」の精神で、歴史と伝統ある知念高校の感動的な卒業式を創り上げましょう。

現在取り組んでいる壁画は、卒業式当日に会場で卒業生や保護者・地域の皆さんへ披露されますが、在校生皆さん一人一人の思いが伝わる素晴らしい壁画が仕上がることを期待しています。



卒業生・在校生そして全職員心を一つに、一致団結して、知念高校ならではの最高の卒業式を創り上げましょう。
"Yes, we can do it!"

◆ 2月「如月(きさらぎ)」について

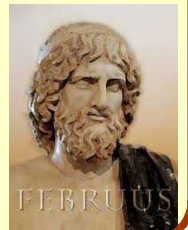


新暦2月の別名として用いられ、「如月」は中国での2月の異称をそのまま使ったもので、日本の「きさらぎ」という名称とは関係がないようである。

「きさらぎ」という名前の由来には諸説あるが、旧暦2月でもまだ寒さが残っているので、衣(きぬ)を更に着る月であるから「衣更着(きさらぎ)」とする説が有力である。

2月はグレゴリオ暦(新暦)では年の第2の月で、2月だけ28又は29日なのは、アグسطسが8月の日数を30から31に変更し、そこで不足した日数をローマ暦で年末の2月から差し引いた為だとされている。

英語のFebruaryはローマ神話のフェブルス(Febrius)をまつる祭りから取ったと言われている。



★辻 秀一 氏

『成功学』・『成功の勝利学』著者

～講演要旨～

2月5日(日) 9:00- 本校体育館

*Quality of Life (QOL): 「心の質」
=自分らしく心豊かに生きる

*ｽﾎｰﾝは文化 → 元気・感動・仲間・成長

*Flow(フロー)とは?
ゆらがない、とらわれない心の状態 → やるべき事を質高く機嫌良くやる

*思考のルーティン(習慣):

- ①今に生きる(過去や未来にとらわれない)
- ②笑顔を大事にする
- ③一生懸命を楽しむ
- ④好きなことを考える
- ⑤ありがたいと考える
- ⑥夢を考える



～～ 時の言葉 ～～

「夢なき者に理想なし。理想なき者に計画なし。計画なき者に実行なし。実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」



吉田 松陰 (よしだ しょういん) : 1830~1859 江戸時代末期の志士(長州藩士)・思想家・教育者。明治維新の精神的指導者。幼少から叔父が開いた塾で指導を受け、57年に塾の名を引継ぎ松下村(しょうかそん)塾を主宰。高杉晋作や伊藤博文等教育し、幕末・維新に活躍した多数の志士達を輩出。

～～ English Maxim (名言) ～～



"Success is not final, failure is not fatal; it is the courage to continue that counts."
「成功は決定的ではなく、失敗は致命的ではない。大切なのは続ける勇氣だ。」

Winston Churchill (ウィンストン・チャーチル) 1874~1965: 英国の政治家・軍人・作家。第二次世界大戦時に首相を務め、伴'ヲを勝利に導いた。1953年に「第二次世界大戦回想録」でノーベル文学賞を受賞。BBCが2002年に行った「偉大な英国人」投票で1位に選ばれている。